

# ボブテックスフロア™の施工方法

## 施工の前に

### ■ 下地の点検

### ■ 割り付け 墨出し

### ■ 材料保管

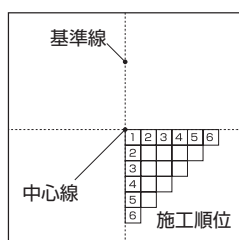
### ■ 材料確認

### ■ 養生

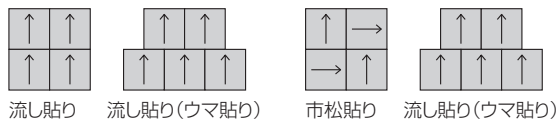
- ①平滑さ、②乾燥、③強度、④汚れを点検します。
- 施工現場を実測し、割り付け図をもとにして、割り付け、墨出しをします。
- 材料保管の善し悪しによって仕上がりが左右されます。
  - ①乾燥した平坦な室内に保管し、直射日光は避けてください。
  - ②室内温度10～25℃、湿度75%以下での保管が最適です。
- 品番・ロット番号・数量を確認し、同一場所に他のロットのものが混在しないようにしてください。
- ①平滑さ、②乾燥、③強度、④汚れを点検します。
- 10℃以上に保たれた室内の平滑な場所でタイルを箱から取り出して、表面を上にして1～2日程度積み重ね、クセを取り除いてください。特に冬季はクセが取れにくいので、必ず箱から出してください。

## 施工手順

- ① 施工する部屋の中心を基準にして、直角に交わるタテ、ヨコの基準線を墨出しし、部屋を4区分します。出入口、廊下、壁面などには極端に小さなカットが入らないように、中心点を調整して割り付けてください。
- ② 基準線に沿って基準タイルを施工します。
- ③ 施工はピラミッド工法のようにすすめてください。



- ④ 製品によって流し貼り又は市松貼りにて貼ってください。流し貼りも可能ですが、流し貼りの場合柄はつながりません。
  - ※必ずウマ貼りで施工してください。
  - ※流し貼り（ウマ貼り）でも角度により一枚ごとに見える場合があります。



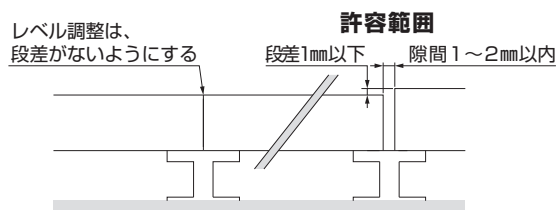
- ⑤ 同一場所は同ロットの製品で施工してください。施工前に必ず品番、ロット番号、数量を確認してください。
- ⑥ 目違い修正は、圧着する前に修正してください。
- ⑦ 接着剤が硬化するまでは、温度変化や直射日光は避けてください。
- ⑧ 壁際などの端部は、隙、浮きのないように納まりよくカットし、ハンドローラー等で入念に圧着してください。圧着不良は接着不良につながり、後日床タイルの反り、突上げ、剥がれなどが生じる事があります。
- ⑨ 下地や施工場所によって、適した接着剤の選定をお願いします。

### ⚠ 注意

目地ズレが発生した場合は、ズレが大きくなる前にタイルをカットし、目地調整をしてください。

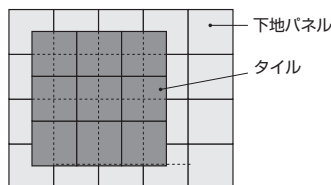
### 二重床（OA下地）に施工する場合の注意点

下地パネルの段差は1mm以内、隙間は1～2mm以内になるよう、レベル調整を正確に行ってください。



- 10℃以上の室温になじませてから施工してください。
- 調整ラインを設定し、目地ズレを修正してください。
- タイルのつめすぎは、突き上げの原因になりますのでご注意ください。
- パネルの目地をまたく様に施工します。パネルの目地とタイルの目地が重ならない様タイルをカットし、目地を調整してください。
- 目地が重なると目地スキ、段差などが発生する原因になりますのでご注意ください。

正方形タイプ（500mm×500mm）



[接着剤：AB-700P]



# ボブテックスフロア™ のメンテナンス方法

ボブテックスフロア™は高密度にナイロンパイルを植毛した床材で、耐久性やメンテナンス性に優れた床材です。予防清掃・日常メンテナンス・定期メンテナンスこれら3つの清掃・メンテナンスを実施することで、長期的に美観を維持することができます。

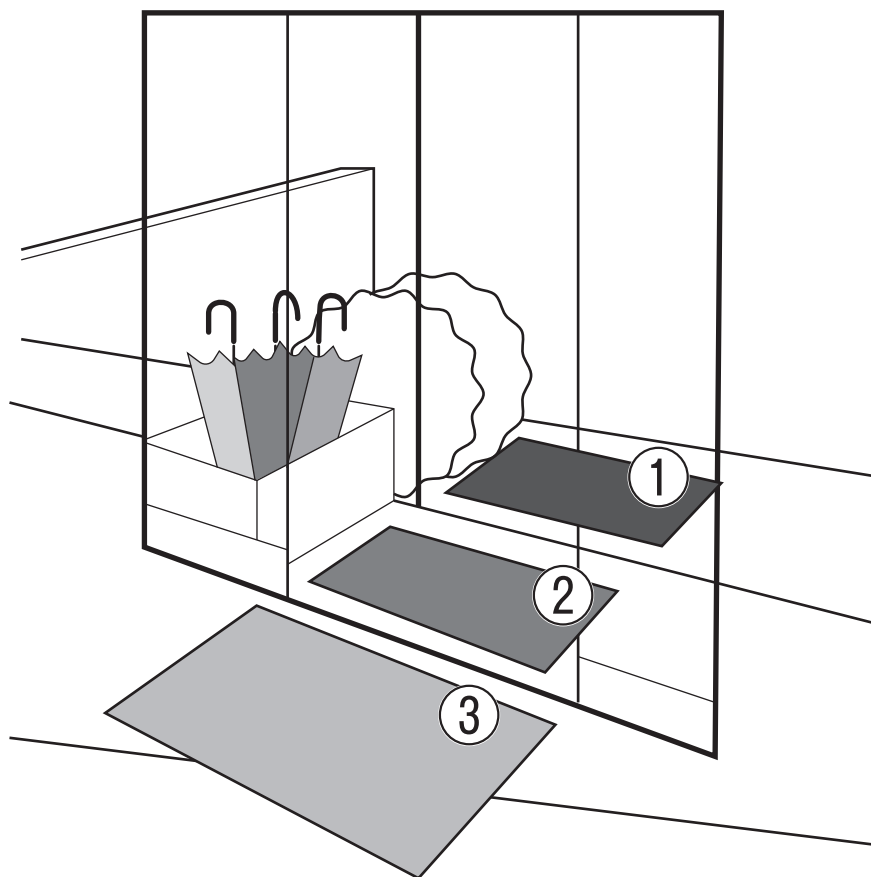
## 汚れ予防と日常の清掃について

### ■ 予防清掃

室内の汚れの80%は外から運び込まれます。靴底に付着した泥・砂などが施設内に持ち込まれ、汚れが拡散します。エントランスには以下の**3段階の床マット**を設置することが重要です。

- ① まずは、玄関の外に、雨・風耐用型のマットを置きます。
- ② 次に風除室内に雨の日の水分まで吸着するマットを敷きつめます。
- ③ 最後に施設内に汚れ・埃・水分吸着用マットを敷きます。

※ 足拭きマットが汚れて泥・砂が飽和状態のまま放置すると逆にマットの汚れが内部に入ってきますので、マットは常に清掃してください。足拭きマットは毎日掃除機と月1回の水洗いをおすすめします。



- ① 入口にマットを置き、外からの泥・砂などをふり落としします。
- ② 風除室内に入る水分を吸着するマットを敷きます。
- ③ 施設内に汚れ・埃・水分吸着用マットを敷くことで、予防できます。

※ マットが汚れて泥・砂が飽和状態のまま放置すると逆にマットの汚れが内部に入ってきますので、マットは常に清掃してください。

## ■ 日常の清掃

汚れがひどくなる前に、汚れの原因を取り除くことが長期にわたる美観維持につながります。

- ① 掃除機で埃やゴミを取り除いてください。
- ② 汚れやシミはきれいな水もしくは温水（約40℃）を使用して取り除いてください。  
水や温水で落ちない場合は、希釈した中性洗剤を使用してください。
- ③ 水分や洗剤を完全に除去しよく乾燥させてください。

〈ケチャップ、マヨネーズ、コーヒー、お茶などのシミ汚れの場合〉



1.スクレイパーで汚れた部分を取り除いてください。



2.水を使い、ブラシなどで汚れた部分を擦り、汚水をきれいな雑巾などで吸い取ってください。



3.最後に綺麗な水（またはお湯）を用いてリンスします。



4.スクレイパーなどで汚水を集めて雑巾で吸い取ってください。

## ■ 定期メンテナンス

日常メンテナンスで除去できない汚れが溜まってきたら、定期メンテナンスをしてください。

- ・ 掃除機で埃やゴミを取り除いてください。
- ・ シミ汚れの場合には水を使い、ブラシなどで汚れた部分を擦り、汚水をきれいな雑巾などで吸い取ってください。
- ・ アルカリ性の洗剤は使用しないでください。変色の原因になります。
- ・ 希釈した洗浄剤を塗布し、ポリッシャーで洗浄して汚れを取り除いてください。
- ・ 広い面積の場合は残った汚水、洗浄液は掃除機やエクストラクターで吸い取り、よく乾燥させてください。

## ■ 注意事項

- ・ アルカリ性の洗剤は使用しないでください。変色の原因になります。
- ・ ボブテックスは他のカーペット素材と同様に什器、家具の跡が付くことがあります。  
メンテナンス動画を参考に毛を起す作業をしていただく事で軽減できます。できるだけ点荷重がかからないよう、敷板・脚カバー等をご利用いただく事をおすすめ致します。
- ・ 施工後カーペットを移動・交換するときは、必ずタイルカーペットの端を起こしてゆっくり引き上げてください。切欠き部や開口加工したところを無理に剥がさないでください。
- ・ 弊社推奨ピールアップボンド AB700Pを使用する場合の推奨塗布量は約120g/m<sup>2</sup>となります。  
塗布量に過不足がある場合、剥がれ・破れの原因となります。

[接着剤：AB-700P]

